



第 9 号

社員の皆さん、日々の配送業務、大変お疲れ様です。

令和 4 年も、早 3 月へと入り春の陽気を感じ取れるようになってきましたね。

また、コロナ禍によるまん延防止の方も、全国全てが解除となり、気持ちも緩んでくるころかと思えます。しかし、まだまだ、身近での感染も有っている状況は変わっていないようです。皆さん一人ひとりが、絶対に感染しないという意識を、ほんの少しだけ高く持って行動をすることが、一番の対策になると思いますので、全員で頑張りましょう。

さて、今月よりわが社は、令和 4 年度へと入っております。今年に入り、二つの新たな理念を掲げました。

一つ目は、『目的理念』です。目的理念は、わが社が現在、企業として目指している姿です！！

私たちが輸送させていただくモノ一つひとつには、生産者の想い、販売者の想いなど、関わる人々の想いが有ります。その想いを繋ぐ役割を忘れることなく、目の前の輸送と向き合っていき、会社全員で『幸せなる』ことを、一番の目的として、色々な取り組みを実践していきましょう。また、私たちは、輸送という仕事を通して、色々な方々に、『安心と感動』も与えていかなければなりません。是非、皆さんと一緒に、この目的理念に掲げている会社へと育てていきたいと、切に願っております。

そして、もう一つの理念は、『行動理念』です！この行動理念は、目的理念を実現していく為に、わが社で働く皆さんと、ベクトルを合わせて活動を実践していく上での、指針となるモノです。

この行動理念をベースに、健康への活動、安全への活動、品質向上への活動などを、一人ひとりが、前向きな気持ちで、意識して取り組んでいくことによって、一人の無事故、無災害ゼロへと、大きく繋がっていくはずで、一人ひとりの力が、金の鎖で結ばれていくことで、大きな力へと変わっていくと信じております。

## 『目的理念』

『人々の想いを繋ぐ輸送を通して、社員の幸せの実現と、地域社会に安心と感動をお届けします。』

## 『行動理念』

- 一つ、社員が笑顔で安心して生活ができる、安定した業務を提供し続けます。
- 一つ、物流に繋がる人々（生産者・企画営業販売者・消費者）の想いを繋ぐ役割で在り続けます。
- 一つ、地域社会に感謝して、環境への配慮を目的とした、安心できる安全運転（エコドライブ）を実践します。
- 一つ、お客様に安心して喜んでいただける接客対応並びに、安全運転、安全作業を実践します。
- 一つ、同業者、その他企業の模範となる、安心できる安全運転並びに、安全作業、マナー・モラルを身につけ実践します。

## 『経営基盤の拡充への取組み』

# 【笑顔で元気なあいさつ】

今期令和4年度（令和4年3月1日～令和5年2月28日迄）は、皆さんと『あいさつ』を意識して実践していきたいと思います😊😊😊

幼い頃に、出来ていたはずのあいさつですが、大人になるにつれて、自分の心の我ままによって、あいさつをしないことに慣れてしまっていたように思います。でも、最近これではダメだと感じ、自分の我を捨てて、あいさつを頑張っています。私自身、あいさつをして、心地良いと感じることが多くなってきました。

是非！社内であいさつ運動を推進していき、同じ職場の仲間（ファミリー）で、お互いに『あいさつ』に磨きをかけて、沢山の笑顔が溢れる職場作りをしていきましょう😊😊😊

【あいさつは人と人をつなぎ合わせる金の鎖です】

人と人のつながりを大切にするために、家族、友人、ご近所さんにも、あいさつをしていきましょう😊😊😊😊

大橋校 小3生

## あいさつ

あいさつをすると、ぼくのこころはいつもスッキリします。だから、  
どんどんあいさつをするようにしています。あいさつのいい所は  
笑顔になれることです。する方も、される方も、あつという間にとても  
いい顔になれます。

笑顔というのは、やさしい心を作ります。いやなヤツの心もかえら  
れるかもしれません。

ぼくは、一年前から少年拳法を習っています。ここでのあいさつは  
一味ちがいます。体育館にひびきわたります。ぼくはそんなあいさつ  
が大好きです。

「ありがとう。」「さようなら。」「いただきます。」「ごちそうさま。」  
たくさんのあいさつをうまく使いわけて世界にたくさんの親友を作り  
ながよくできたらいいなと思います。

あいさつをするだけで

長田中1年

徳田 杏

自分はいさつをしただけで、相手は返してくれなかった。こんな経験は誰もが出たことがあろう。私は生徒会活動として、朝のあいさつ運動に取り組んでいる。朝早く登校し、極寒の中で正門に立つ。「頑張ろう」と思い、「おはようございます」と声を出す。しかし返事は「...」。

高まった気持ちは一気に急降下。「寒い中で頑張っているのに」と悲しい気持ちになる。一方で、立ち止まって笑顔であいさつを返してくれる人もいます。そんな時、私の心は少し温かくなり、元気になる。

小学生の頃の私は、あいさつをあまりしなかった。「あいさつをしよう」と呼びかけている人たちの前を、無言で通り過ぎてしまっていた。今なら分かる。あいさつを返さないということが、どれだけ寂しい行為なのか。

そして、あいさつを返すということがどれほど温かい行為なのか。

あいさつをするのが恥ずかしいという人もいるだろう。しかし、あいさつをしていなかった人が少しでも変わるといって、素晴らしいことだと思ふ。あいさつはするべきだ。会釈だけでもよい。たった数秒の「あいさつ」をするだけで一日が楽しくなるなら、これはしたほうがよいに違いない。

(鹿児島市)

【南日本新聞の記事より】



# 【心に初心者マーク】

毎月、内勤者で行っている朝礼で、職場の教養を輪読していますが、2月20日の日の職場の教養のテーマが、『心に初心者マーク』でした。内容を読んでもみると、運転に慣れてきた頃、自分の心の慢心によって、接触事故を発生させてしまった。という内容です。常にどのような心持で運転をしたらいいのか、それを考えさせられる内容です。皆さん、読んで考えてみて下さい。

2/20(日)

## 心に初心者マーク

A子さんが運転免許を取得してから、一年が過ぎました。苦手だった駐車も、駐車スペースの中央に、真っ直ぐ止められるようになりました。

A子さんは休日に、父親の車を借りて買い物に行きました。その帰り、自宅のブロック塀の角を曲がろうとすると、角の近くにトラックが止まっていたのです。  
「狭いけれど、何とか通れるだろう」と思い、速度を十分に落とさずに曲がった瞬間、ガリガリと音がしました。

庭に止めて車を見ると、左ドアから後部にかけて、壁の角にこすった傷がついていました。

A子さんが父親に状況を伝えて謝ると「ケガがなくてよかった。だけど、運転に慣れてきた頃が一番事故を起こしやすい。一年過ぎても初心者だという気持ちをお忘れずに安全運転をなささい」と諭されたのです。

いつの間にか、「自分は運転が上手」と慢心していたA子さん。それからは、初心者マークを心につけて、安全運転に努めています。

今日の心がけ◆慢心せずに行動しましょう